

# 【資料 3】 次期デジタル強靱化戦略の 策定に向けて

---

デジタル化推進本部事務局  
(総務部 情報戦略課)

- ◆現戦略については、DXを推進していくスタート時期でもあることから庁内外に今後の方向性等を示す一つの手法として策定してきた背景がある。
- ◆その後、各年度における取組方針・予算方針・将来像などの取組を進めてきた中で、「オンライン申請」「キャッシュレス」「オープンデータ」「スマート窓口」「各種ツール」「内部事務改革推進」「市民ポータル」等の実装、議論が進んできた。
- ◆また、各部室局においてもそれぞれの課題解決においてデジタル技術を活用した各種取組も進んでいる。
- ◆一方、「内部事務改革」「市民ポータル」「データ連携」「マイナンバー活用」「窓口改革」は引き続き、取組を止めることなく実装・実現に向けて議論をしていくことが必要。
- ◆また、デジタル技術の進展、課題の多様化等により各分野において実現できること、解決できること、解決しなければならない課題も増えていくことが考えられる。
- ◆これらを踏まえて、次期デジタル強靱化戦略の必要性を検討する必要があるのではないか。

## 次期戦略が必要

- 全庁が同じイメージ(目指す姿)を共有しながら、それに向けて各分野で抱える課題などを解決するために必要な取組を進めていくべきなので、共通認識・理解を常に持てるような方針・戦略が必要ではないか。
- 目指す姿を共有しながら、1年毎に何を重要視していくかを明示することが必要であり、それを常に意識しながら各分野において必要となる取組も検討していくことがDXの推進につながるため、方針・戦略は必要でないか。 等

## 次期戦略は不要・他計画への統合等

- ▼DXは今や当たり前に取り組んでいくことであって、敢えて計画などは示す必要はなく、各分野において課題を捉えながら、必要となる取組を実施していくことでいいのではないか。
- ▼各部室局の取組を積み上げていくような建付けであれば、都度(毎年度等)で方向性を全庁的に示すことで十分に対応可能ではないか。
- ▼デジタル技術の進展が激しい中で、将来を見通すことが難しいことから都度の方向性対応で十分等

### ◆本部員の皆様のご意見をお聞かせください

- ・今後引き続き、DXを進めていくためには戦略をもって全庁で同じ意識を共有しながら進めていくべき
- ・都度(毎年度等)の方針やイメージ(目指していく姿)等の共有で十分ではないか 等

## 2 今後の議論について

○本日の議論を踏まえて・・・

① デジタル化推進チーム会議・CDO補佐官等との意見交換

↓

② 次期戦略に関する必要性に関する見解の整理・議論

↓

③ (1)必要性がある場合

・次期戦略の建付け、構成、他計画との関係性等について整理・議論

(2)必要性がない、他計画等への統合で進めていく場合

・今後、DXを進めていく際の考え方などの周知や共有方法の素案等を整理・議論

④ ③の議論を踏まえて、その後の進め方についてはデジタル化推進チーム会議・CDO補佐官等との意見交換を踏まえて整理